

行政区長懇談会(赤石地区) 要旨

- ◆日時 令和8年6月27日(土) 14時00分～14時50分
- ◆場所 赤石公民館
- ◆参加者 行政区長 19名
紫波町 町長、副町長、教育長、生活部長、産業部長、建設部長、企画総務部長、
教育部長、総務課長、地域づくり課長
(役場会場) 長寿介護課長、健康福祉課長、農政課長、土木課施設管理係長、都
市計画課長、税務課長、消防防災課長、学校教育課長、生涯学習課長、
こども課長、学校給食センター所長、農業委員会事務局長

1 開会

2 町長挨拶

普段からしわネットの配布や、その他配布物、そして地域の困りごとなど、様々ご対応いただきまして、心から感謝を申し上げます。今日は三役、部長以下職員が地域の皆さんの出来事困りごとをお聞きしに参りました。

忌憚のないご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

3 町からの情報提供

- ・ツキノワグマ出没への注意喚起について(環境課)
- ・空き家の聞き取り調査について(都市計画課)
- ・統計調査員の推薦について(総務課)

<行政区長>

先ほどの説明の中で、昨日蔭沼にクマの出没が確認されたという発言があったが、ラインで出没の報告がなかったような気がするがどうなっているのか。

(産業部長)

昨日の通報は警察に一報が入った。クマらしきものが空き家の中に入ったようだという情報であったため、ラインの方は控えていた。翌朝確認したところクマの情報はなかったため、改めてラインでの発信は行わなかった。クマの情報については不確実な情報も入るようになってきており、慎重に吟味しながら情報発信をしているところ。

<行政区長>

クマの関連、先日役場の環境課に新幹線高架下の草刈の話をしてもらった。今 JR はその草刈りをしてくれない。ぼうぼうになるため刈っていいかと役場に聞いても、いいですとは言えないため曖昧になってしまう。結局私の方で刈ってしまったが、小学生が通

学で通ったりするところでもあるので、クマが潜伏出来てしまうような場所を残しておくのは不安である。役場の方としても、私たち地域の人で何か出来ないかなどアドバイスしてもらえると助かる。

(産業部長)

我々も JR の方に連絡したが、今はそこに回れないという回答だったので、そこについては役場職員で草刈りを行った。その後 JR も来て一部刈っていったようだが、区長さんのご指摘の場所までは及ばなかったようだ。この現状を JR に説明して、今後早急に取り組んでいただくよう要望していく。

<行政区長>

統計調査員の推薦について、人を探すのは非常に大変。せめて 6 カ月程度の猶予は欲しい。

(総務課長)

人を探すこと、非常に大変なことであることは承知している。6 カ月ということで、善処してまいりたい。

4 懇談

<行政区長>

赤石地区では、平成 18 年から琢磨会という会を作り、行政区長の懇談会を開いている。そこでいろいろな意見が出ている中で、近年ちょっと気づいたことを申し上げてその対応の仕方を聞きたい。

先ほど出た統計調査員などの人選が行政区長の最も嫌な仕事。それで琢磨会で研修を行う中で、町の事業や財政について当時の参与から報告を受けた。そこで出てきたのは、行政区長の立場のあり方がはっきりしていなくて、どんどん仕事が増えている。何を目的に行政区で仕事をしているかということが分からないということが出てきた。また、昨年国勢調査があった。その中で問題になったのが、外国人の方が増えてきたということ。その方々に対する対応をどうしたらよいか、なかなか意思疎通が難しいということがあった。

常に行政区長は一人でやっているが、一人で背負うことは難しいので、琢磨会という組織を作って話し合いながら進めている。それを補佐する課というのは総務課だけなのか。一つの問題に対して色々な課が対応することがあると思うので、総務課だけということはないと思う。庁内にそういった課、場所を作ってもらいたい。

(総務課長)

行政区長のあり方等を考えていくということだが、今年度県立大と地域協働研究で区長制度の現状と課題、制度の見直しに向けた基礎的研究を始めた。また、様々な困りごとの相談ということで、窓口としては総務課で承り、関係各課と連携をしていく。

<行政区長>

私の行政区では、自治会組織の中に行政区長も入れて、一人ですべて解決するのではなく、それぞれの役割を持った理事がいるという体制でスタートしている。まだまだ自由闊達な住民の意見を吸い上げるところまで行っていないが、それぞれのプロフェッショナルに相談したり、地域のことをみんなで考えたりという仕組みを作っている。

<行政区長>

昨年からスクールガードを務めているが、ベストのポケットが携帯電話を入れるには浅すぎて、少し動くと落ちてしまうことがある。次直す機会があれば深めのものにしてほしい。あと、帽子やホイッスルもあるといい。

(教育部長)

日頃からスクールガードボランティア活動にご協力をいただきましてありがとうございます。現在のベストはかなり前から同じ形状になっており、携帯電話を入れる部分が浅く狭いという話も挙がっているので、今後ベストを更新する際には考慮したい。また、帽子、ホイッスルも配慮していく。

<行政区長>

私の行政区の辺りの国道 4 号線は信号があまりなく、車がものすごいスピードで走っている。警察の取り締まりも行われており、頻繁に車を止めているようだ。そこで 2 年ほど前に役場に信号機を設置すれば、車のスピードが抑えられるのではということで相談に行ったことがある。その後の答えがまだないので、役場からも積極的に警察にお願いしてほしい。

私の行政区は高台で、消火栓が不足している。消火栓の数の確保について役場をお願いしたが、まだ回答がもらえていないため、こちらもよろしくをお願いしたい。

(消防防災課長)

一点目、信号機の設置について。区長さんからご要望をいただいた後、警察と協議をしたが、警察側の信号機の設置基準に満たないという連絡を受けまして、現在設置には至っていない。国道 4 号線の交通量はそのとおりだが、町道から国道 4 号線に出る側の交通量が設置基準に満たないということであった。今後も道路事情等踏まえながら、検討してまいりたい。

二点目、消火栓について。農村広場のところ、消火栓はあるものの水道の口径が細く、なかなか増やすことが難しい。またそのほかの部分についても、状況を見ながら設置の方を検討してまいりたい。詳細について、またご相談させていただきたい。

<行政区長>

スクールガードの話が出たが、スクールガードの保険は、教育委員会で対処するのとか。どのような保険になっているのか、教えてほしい。

(教育部長)

スクールガードボランティアについては、町の市民活動保険(いわゆるボランティア保険)を適用させていただいている。保険の詳細については、地域づくり課から回答する。
(地域づくり課長)

ボランティア保険は、市民活動をされている団体が地域活動や社会福祉活動等に從事した際の事故に備えて加入している保険である。万が一事故が起こった際には、地域づくり課にご連絡してください。

<行政区長>

私の行政区は世帯数が非常に多く、また増加傾向にある。何世帯以上になったら新たに行政区を設けるなどといった線引きの規定はあるのか。また、ある大規模な共同住宅に多く外国人が住んでおり、その対応に苦慮している。外国人が一概に悪いというつもりはない。ただ、回覧は途中で無くしてしまうので、現在回覧もしていない。町内会費などの集金については、別のアパートは管理会社の方がやってくれているので助かっているが、その共同住宅は管理会社が一切タッチしてくれず、ほとんど回収できない。同じ行政区内に住んでいても不公平となってしまう。そういったところの対応をどうしたらよいか。

(総務課長)

大規模開発に伴う行政区割の見直しについて、昨年度以前から、開発の予定があった時点で行政区割の変更を念頭に当時の区長さんとお話をしてきた経緯がある。現在、想定より家の建つスピードが穏やかであるが、今後宅地が一定数を越えた段階では、行政区の区割を見直すことも考えられる。具体的な数の基準というのは特にはないが、必要に応じて役場と区長さんをはじめとした地域の方々とで相談しながら進めていきたい。

(地域づくり課長)

特に赤石地区においては転入が増えており、新しい世帯の方も多くおり、また集合住宅も多くあるということで、町内会の活動には苦労があることと認識している。管理会社が関与しない住宅については、回覧や集金が大変だという声も私たちに届いている。自治というところであるため、町から直接的にこうしてください、ということは申し上げられないが、地域の暮らしを皆さんで支えていく、よりよいものにしていくということで、その町内会、自治会の役割、どういう存在なのかというところを、住民の皆さんに理解してもらうことが重要だと考える。

<行政区長>

全国各地でさまざま災害が発生しているが、紫波町は備蓄の面でどういう状況になっているのか教えてほしい。

(消防防災課長)

食料については、だいたい200食程度をこちらで備蓄している。基本的な考え方は流通備蓄という形で、いろいろなところから集めることだが、現在備蓄している分の考

え方としては、災害が起きた時に一晩何があってもとりあえず皆さんに食事が渡るようにということで、このような数を備蓄している。また、避難所への備蓄品ということで、毛布などといったものについては、学校にも町の防災倉庫にも備蓄をしており、避難所の開設の際には、こちらを移動して開設した避難所に設置するという考えている。

<行政区長>

その備蓄の量だが、どのようなレベルの時の備蓄として考えているのか。大きな地震が来て誰も動けなくなった時に、その備蓄している場所から避難所へ運ぶことができないという状況もあるかと思う。分散しておくのも必要ではないか。

(消防防災課長)

確かにご指摘のとおり、道路が分断されるなど様々な状況が想定される。地域の拠点というか、特定の避難所に対しては、食料や備蓄品については設置するというので進めてまいりたい。

5 町長総括

・クマ、ご指摘のとおり紫波中央駅から日詰駅のところで出沒したということでご心配をおかけした。新幹線の高架下など皆様のご協力をいただいていることに感謝申し上げる。中央部のみならず東西でクマが出沒しているので、その草刈については施設維持センターなどの職員も出向いて行っているところ。危険箇所については JR にも要望をしていくが、地域のこと、みなさんもできることはご協力いただきたい。

・人を探すのが大変という話、私もある方に役職をお願いして5回断られて、ようやくと就任をいただいたということがある。地域の人もなかなか限られると思うので、配慮してまいりたい。

・スクールガードさん、子どもたちが事故に遭わないよう、本当にご尽力いただいている。帽子、ホイッスルについても調整させてほしい。

・市民活動保険について、事故がないのが一番だが、もし何かあった際は役場に連絡を。

・国道4号線について問い合わせをいただいていた件について、お問い合わせに対する回答はできること、できないことがあるが、まずもってお問い合わせに対する回答がなかったこと、申し訳ございませんでした。できないならできないということを、理由をしっかりと説明するべきであった。

・外国人について、紫波町国際交流協会が日本語教室を行っている。そこに紫波町内で働いている外国人の方々も参加いただいて、非常に賑わっているということであった。そういった場を活用いただきながら、その方々への情報発信などもできればと思ったところ。